環境報告書 2025

スカイマーク × ピカチュウ
【ポケモン】

JAL × ミャクミャク
【大阪・関西万博】

宮城県警

名取の大空

JAL × さくらジンベエ
【沖縄・美ら海水族館】

中国国際航空(中国)
【特別塗装】

JAL × ジンベエジェット
【沖縄・美ら海水族館】

仙台市消防局

JAL × ドンキーコング・エルモ 他
【ＵＳＪ】

エバー航空(台湾)× ハローキティ
【 サンリオ 】

株式会社オイルプラントナトリ

CONTENTS

ごあいさつ、会社目標・・・・・・・・・２

会社概要・・・・・・・・・・・・・・３～４

環境方針、経営理念・・・・・・・・・・５

環境管理組織体制・・・・・・・・・・・６

環境保全活動・・・・・・・・・・７～１１

■省エネ・CO2削減
■教育・訓練
■コンプライアンス活動
■安心・安全をめざして
■環境監査
■監視測定・コミュニケーション

地域社会との関わり・・・・・１２～１３

ＳＤＧｓの取組、協定書関連・・・・１４

環境報告書について

本報告書は、株式会社オイルプラントナトリの2024年度の
環境保全への取り組みと実績を報告するものです。

ごあいさつ

代表取締役社長
武田　大輝

弊社の歩みは、廃棄物をそのまま捨てるのは「もったいない」という創業の精神から始まりました。その志は次代へと受け継がれ、社会の変化やお客様のニーズに合わせ、環境問題に対し「リサイクル」という一つの答えを見出しました。そして現在・・・。

社会情勢は目まぐるしく変化し、DX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントランスフォーメーション）という新たな常識となる中、私たちは時代の変化に即時対応することが求められます。

そんな時代だからこそ、これまでに培ってきたノウハウと技術を活かし、「安心」して廃棄物を委託していただける存在であり続けるとともに、＋αの付加価値を提供できる企業へと成長すべく、社員一同、挑戦を続けてまいります。築いてきた歴史を重んじ、皆様からの信頼に恥じぬ行動を重ねながら、未来を社員と共に切り拓いてまいります。

これからも、オイルプラントナトリは、産業廃棄物処理のプロとして「できない」を「できる」に変える挑戦を続けてまいります。そして、廃棄物に誰よりも真摯に向き合い、「もったいない」を価値へと転換し、常に新たな可能性を生み出す魅力ある企業を目指します。

今後とも、皆様の一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年度 会社目標

令和7年7月1日
株式会社オイルプラントナトリ
代表取締役　武田 大輝

《ス ロ ー ガ ン》

調和協力1チームで次代OPN

～『DX』『GX』『CE』確実な実績をつくろう～

《基　本　理　念》

私たちは「すてない」喜びを伝える事を業務とし この地「広浦」に社員が集う『創造郷』をつくる事を目指す

顧客に対して

「なるほど」と感じ「ありがとう」と満足頂ける産廃処理のプロであること

社員に対して

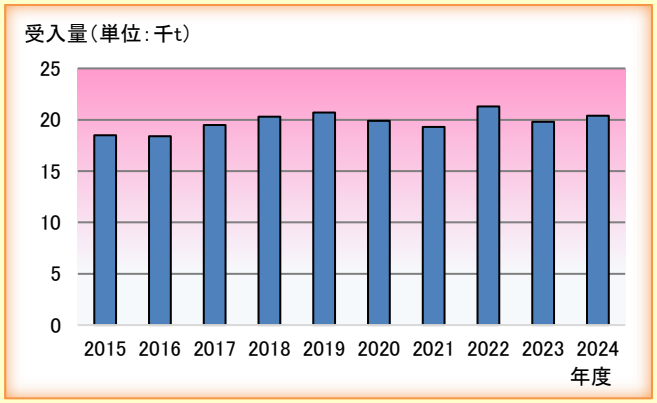
目標が共有でき、安心して夢を持ち働けると感じられる関係をつくること

環境に対して

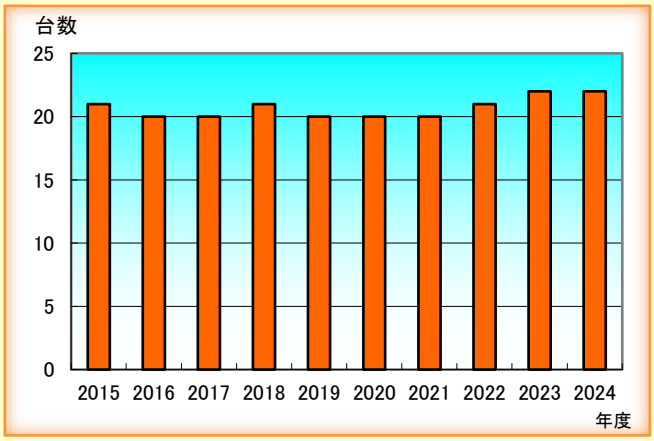
利益は大事だが、営利優先で地域や環境に恒久的迷惑を掛けないこと

会社概要

- 社　　名　株式会社オイルプラントナトリ
- 創　　業　昭和32年3月
- 本　　社　宮城県名取市増田三丁目4番3号
- 事 務 所　宮城県名取市下増田字広浦52番3号
  ☎ 022-382-2713　🖷022-384-0946
  E-Mail　opn-amenity@msf.biglobe.ne.jp
  URL　http://www.opnatori.co.jp/
- 第１工場　宮城県名取市下増田字広浦35番48号
- 第２工場　宮城県名取市下増田字広浦52番3号
- 法人設立　昭和63年4月
- 資 本 金　3，000万円
- 役職員数　47名（2025年4月1日現在）
- 受入量



- 収集運搬車輌推移

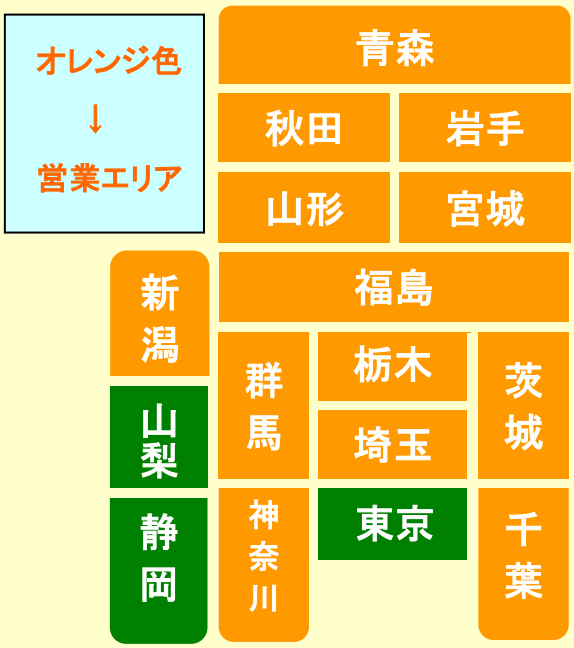


- 敷地

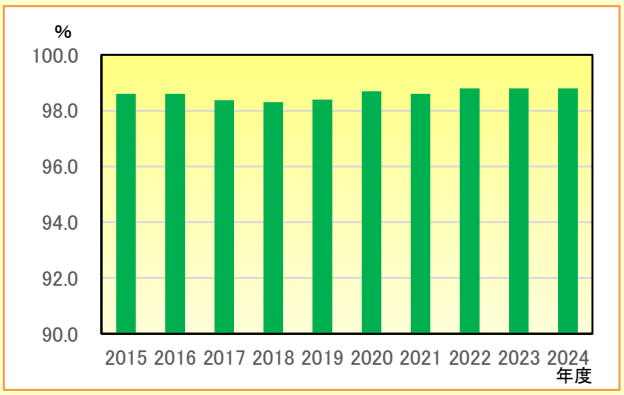
第2工場　7,127.41m²　　第1工場　6,230.71m²

平成16年度　撮影

- 産業廃棄物処分業許可
  産業廃棄物処分業　宮城県
  特別管理産業廃棄物処分業　宮城県
- 産業廃棄物収集運搬業・許可（県）



- 石油製品販売業者
  通商産業省第2-4-0-2740号
- 販売品
  - ・バイオECO燃料（BDF）
  - ・再生B重油
  - ・鉱物系補助燃料
  - ・塩素含鉱物系補助燃料
  - ・溶剤系補助燃料
  - ・塩素含溶剤系補助燃料
- 受注産業廃棄物のリサイクル率推移



〔主要設備および処理能力〕

❒ 車輌関係

（2025年4月1日現在）

運搬車両	台数
16kℓタンクローリー	1台
12kℓタンクローリー	5台
10kℓタンクローリー	1台
5kℓタンクローリー	1台
4kℓタンクローリー	3台
14kℓ再生重油配達車	1台
13tウィングパワーゲート付車	1台
6tウィングパワーゲート付車	1台
6tユニックパワーゲート付車	1台
3tウィングパワーゲート付車	2台
3t平パワーゲート付車	1台
2t平パワーゲート付車	1台
2tローリーBDF配達車	1台
4tアームロール車	1台
ライトバン	1台
構内車両	**台数**
3tウィング移動中間処理車	1台
ホイルローダー	1台
バックホー	1台
フォークリフト	5台
4kℓタンクローリー	1台
2tダンパー車	1台
合計	32台

16tﾀﾝｸﾛｰﾘｰ

13tｳｨﾝｸﾞ

6tﾕﾆｯｸ車

4tﾀﾝｸﾛｰﾘｰ

3tｳｨﾝｸﾞ

4tｱｰﾑﾛｰﾙ

❒ 中間処理施設

・油水分離処理施設

廃オイル⇒再生重油
30m³／日（10時間稼動）

・混合処理施設

汚泥・木くず類⇒原料化
48m³／日（8時間稼動）

・破砕処理施設

廃プラ⇒固形燃料
11.4t／日（8時間稼動）

・中和処理施設

廃酸・廃アルカリ⇒加工用水
43m³／日（10時間稼動）

・混合処理施設

廃溶剤⇒代替エネルギー　水溶性廃液⇒加工用水
156m³／日（10時間稼動）

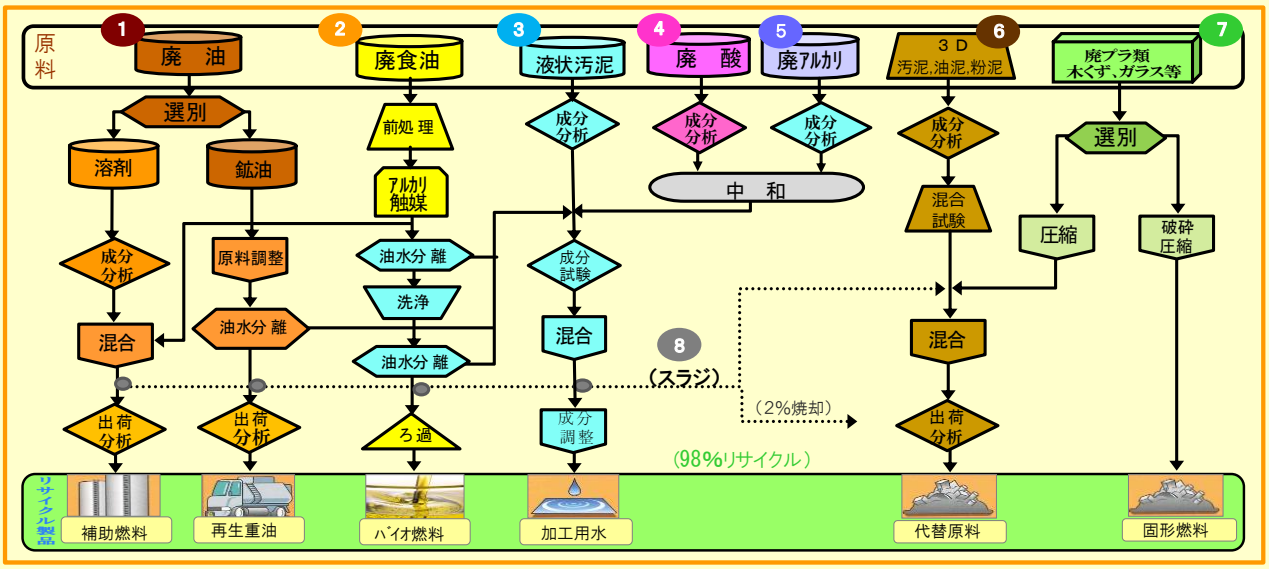
・廃食油の燃料化施設

てんぷら油⇒ﾊﾞｲｵﾃﾞｨｰｾﾞﾙ燃料
15m³／日（10時間稼動）

・廃棄物分析室

蛍光X線分析装置
ガスクロマトグラフ分析装置
電気炉、引火点、水分分析
カロリーメーター等

❒ 処理工程図



環境保全活動に関する方針

環境方針

株式会社オイルプラントナトリは廃棄物の有効利用、及び再資源化を通じて
生活環境の継続的な向上に全社員参加で貢献します。

1. 委託された廃棄物は、安全且つ適正な収集運搬と処分を行うと共に、有効利用、再資源化技術の向上に取り組み、環境保全、省エネルギー、省資源に努めます。
2. 作業工程での環境への配慮に努め、汚染の予防及び環境マネジメントシステムの継続的な改善をします。
3. 環境に関する法律、規制、条例及びその他要求事項を遵守します。
4. 環境目的と持続可能な開発目標(SDGs)を連動させて実施状況を確認し、定期的に見直しを図ります。

『≪もったいない≫をモットーに重点テーマを次に定めます』

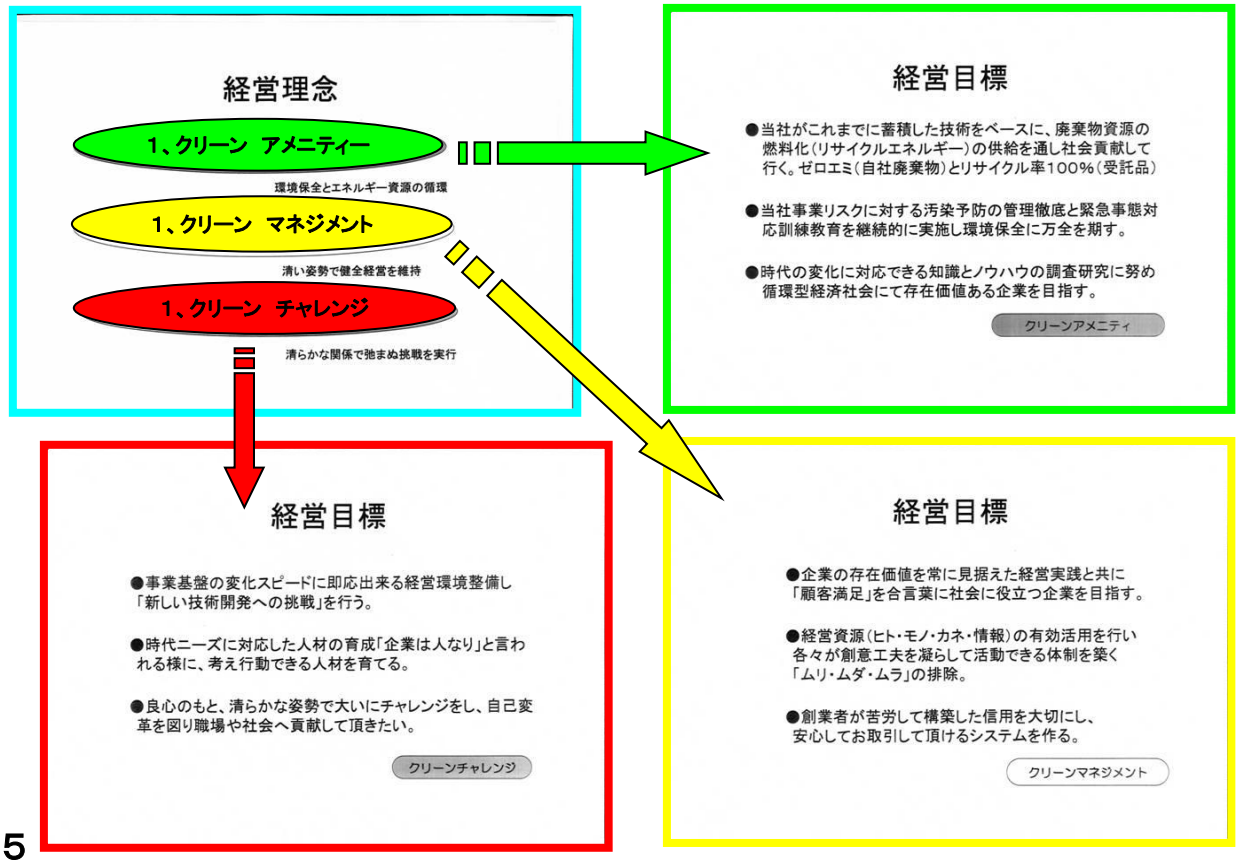
- ◎ バイオＥＣＯ燃料（廃食用油の燃料化）による大気汚染物質の低減に寄与
- ◎ 施設・設備・作業環境の点検及び管理の徹底
- ◎ ＳＤＳや物性表の入手を徹底し廃棄物の安全性の確認により適正処理
- ◎ 収集運搬における車輌及び容器の点検及び管理の徹底
- ◎ 事業活動におけるエネルギー消費とCO_2発生の削減
- ◎ 廃棄物の燃料化、原料化、資源化のリサイクルの推進

5. この環境方針を継続的に実行するため、文書化し全従業員に周知します。
また、出入り業者に対しても協力を要請します。
6. この環境方針は、積極的に社外に公開します。

2025年7月1日

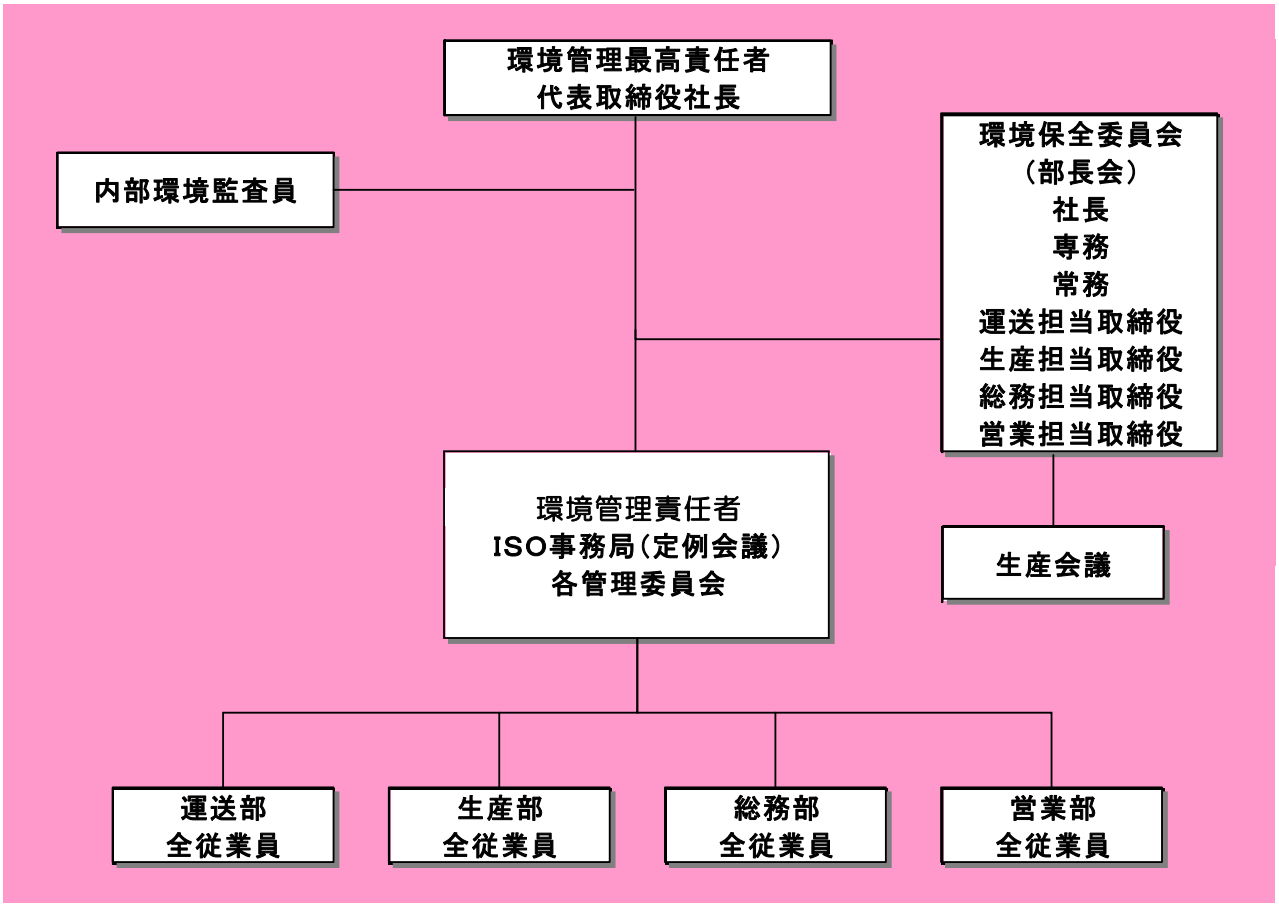
株式会社　オイルプラントナトリ
代表取締役社長　武田　大輝

経営理念

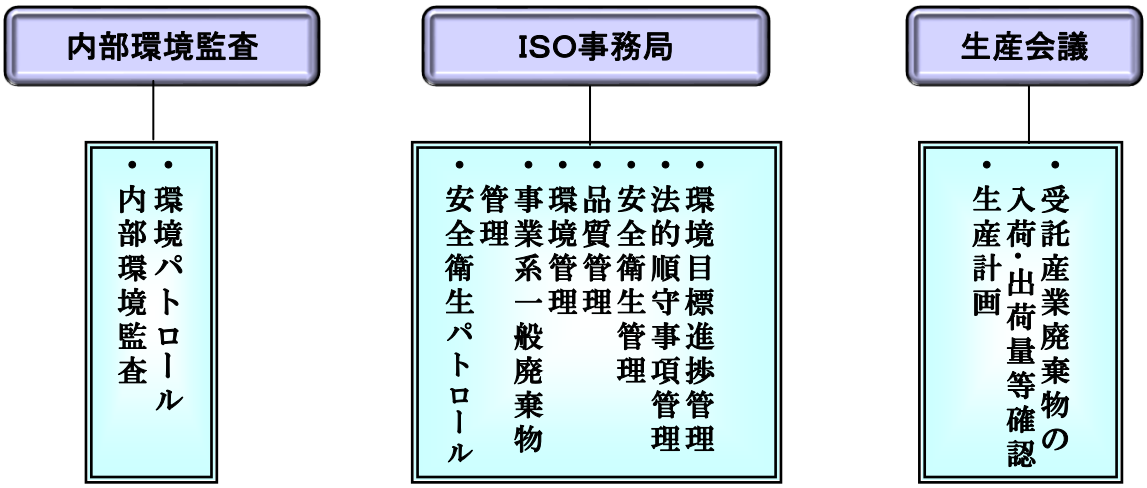


環境管理組織体制

当社の環境保全活動は、下図のような体制で運営されています。
メンバーが全員役員で構成される≪環境保全委員会≫を設置し、経営と現場の両方の視点から迅速な対応を実現しております。
また、事業活動全体の環境負荷を把握し、効率的な環境活動を行うため、ISO事務局会議や生産会議（各部間の連携を目的とする）および内部環境監査員、各管理委員会の協力の上で、定期的なチェック体制は欠かす事の出来ない重要な活動です。



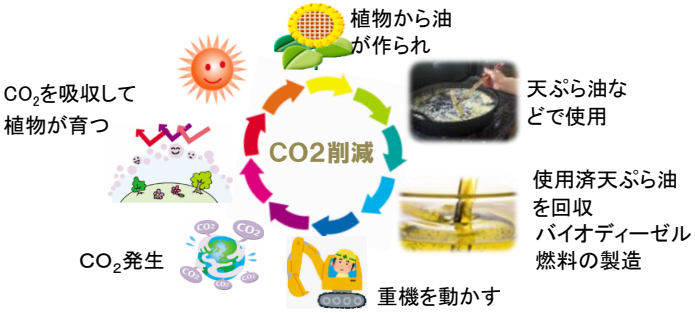
主な活動組織



環境保全活動

軽油使用量の削減

《バイオディーゼル燃料の利用20年》累計257万リットルの軽油を削減



2004年12月から廃食油を原料としたバイオディーゼル燃料を製造し、100%のバイオディーゼル燃料を自社車両の重機やフォークリフトと一部のトラックに年間を通じて利用しています。軽油使用の削減活動を継続しながら、低製造コストの燃料開発に取り組み、工場内使用電力として発電設備への利用を推進してまいります。

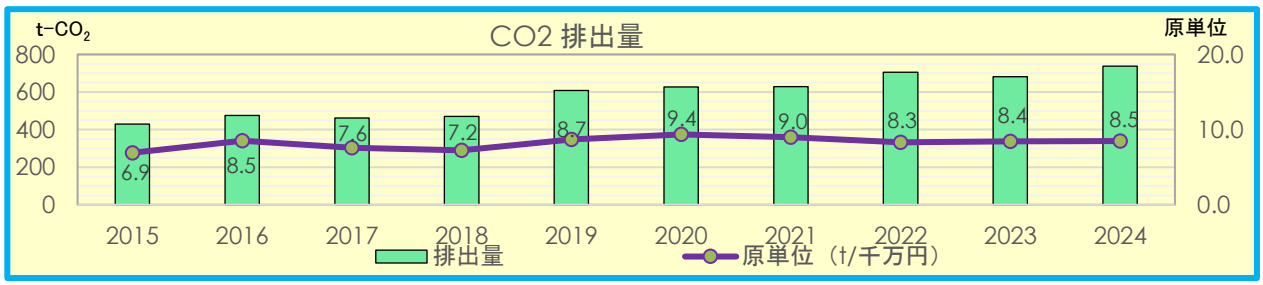
アイドリングストップの推進

休憩時間や作業時の不要なアイドリングストップ活動を20年以上継続し、年間5,000ℓ以上の燃料削減と経費削減の成果を上げております。

アイドリングストップ活動は、運送部が主体的に取り組んでいる活動であり今後は、全ての従業員が気に留め、携われるようにエネルギーの使用量とCO2排出量を可視化し、各部門からCO2削減や省エネ対策案を考えて貰う必要性を感じている所です。

ＣＯ2の排出量

弊社でCO2排出量が一番多いのは、収集運搬車、構内車両、営業車等の化石燃料の使用によるものです。その中でも軽油使用量が多い為、カーボンニュートラルのバイオディーゼル燃料を使用する事が、大変効果のあるCO2削減活動となっています。



バイオディーゼル燃料を利用できるは構内車両の重機に限定されている事。また、収集運搬車の走行距離数が増加している事から、軽油利用によるCO2排出量は増加傾向にありますので、低炭素型大型トラックの開発とインフラ整備を期待しているところです。

LED化推進

第１工場・第2工場（事務所・休憩室・処理作業場）建屋内の蛍光灯は全てLEDに変更しました。
（使用時間少ないため一部街灯除く）

バイオ発電テスト

発電機などの燃料として、バイオディーゼル燃料（BDF)を製造し利用してきた経験を活かし、BDF製造より工程が少なく1/5の低コストになるストレージベジタブルオイル（SVO）を製造し、発電機の燃料として実証テストを行ってきました。そのノウハウを新設のバイオ発電施設に取り入れ、年間を通じて安定した発電施設が完成しました。今後は、工場内利用電力を再生可能エネルギーで稼働できる割合を増やしていきたいと思います。

実証テスト

バイオ発電施設

エコカー導入推進

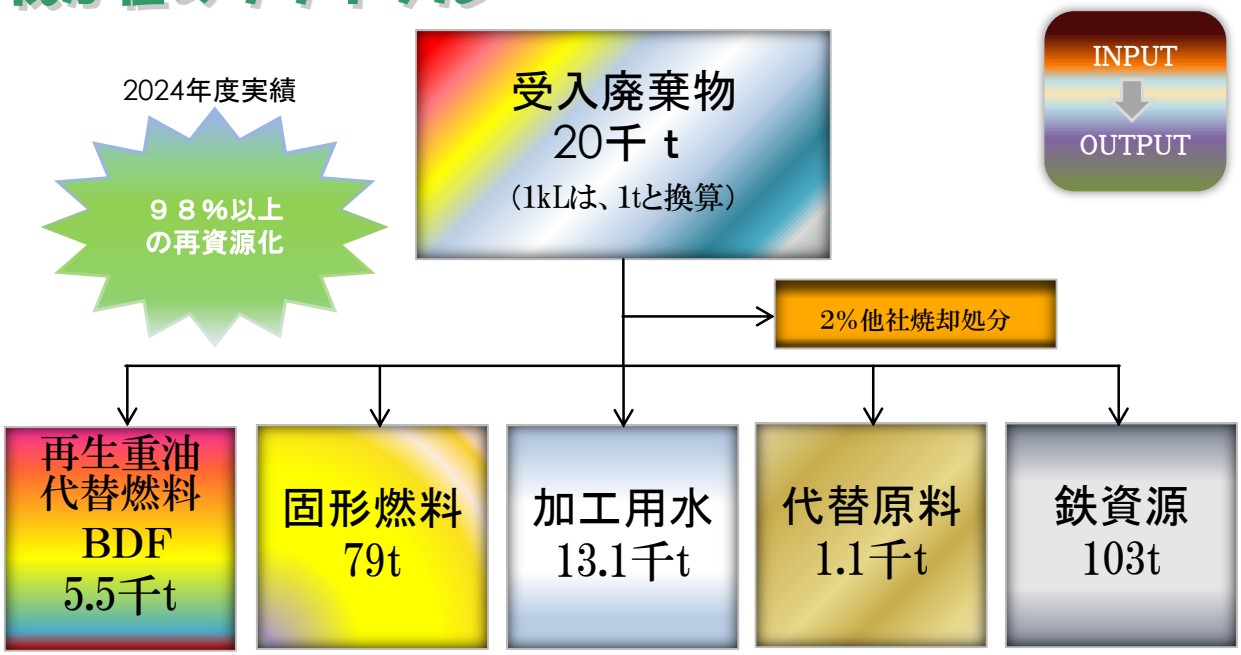
燃料電池車１台

プラグインハイブリット車１台

ハイブリット車６台

ハイブリット車、燃料電池車等の低公害車や低燃費車と認められる自動車を計画的に導入する事を推進。今後は、走行距離に適したEVを取り入れていきたいと考えます。

我が社のリサイクル



教育・訓練　（社内全体研修）

・第1回社内研修会　令和6年6月29日（土）企画部署　運送部

～交通安全研修（追突事故を考える）～

目的：車両を運転する全ての人を対象に、交通安全のルールの厳守と交通マナーを習慣づけ、事故を未然に防ぎ交通事故ゼロを目指します。また、外部講師を招きまして交通安全研修を行い更なる事故防止に努める。

講師：UDトラックス㈱ 様

外部ドライバー研修会の内容報告

ＩＳＯ維持審査報告

10年勤続者表彰

・第2回社内研修会　令和6年9月28日（土）企画部署　営業部

～「温暖化対策は売上UPに繋がっていくのか」～

目的：１、産廃クイズで廃掃法のおさらいを行い、知識習得を目指しましょう。

２、今後も脱炭素政策は続き、経済活動、静脈産業も脱炭素に関わっていきます。弊社はどのように脱炭素社会に関われるのか、今考えられる脱炭素社会を確認し、皆で考えてみましょう。

ベトナム文化の紹介

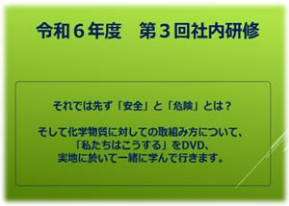
産廃法クイズ

現状の脱炭素対策と将来のOPN

・第3回社内研修会　令和7年1月31日（土）企画部署　生産部

～ 廃棄物処理を通した主体的行動の必要性の検証 ～

目的：廃棄物が処理困難化する昨今に於いて、生産部の取り組みを通し、求められる主体的行動への各人の課題とその行動が織り成す組織の社会的存在意義向上を図る。



安全と危険について

廃棄物混合体験(クイズ)

混合体験結果

改善提案表彰

・慰安旅行　令和7年3月29日(土)～30日(日) 企画部署　総務部

～フォトコンテスト 第2弾は栃木遠征～

さあ出発じゃ！

宇都宮餃子 VS 那須ジンギスカン

華厳の滝

日光東照宮

フォトコンテスト

東武ワールドスクウェア

コンプライアンス活動

ISO事務局活動の中で、環境法律動向状況を毎月調査し、弊社に関わる法改正内容を確認しています。労働安全衛生規則等の一部改正への対応としては、保護具着用管理者教育講習会・化学物質管理者の選任、ラベル表示・SDS交付・リスクアセスメント義務などへの対応実施。また、拡張工事の計画段階として保健所への施設計画協議書の申請。建築基準法第51条ただし書許可および開発行為許可などは、事業計画スケジュールにより関連業者と打ち合わせを行いながら順調に進んでいる所です。全体的に監視体制を評価するには、各部のチェックリストと法的及びその他の要求事項一覧表に整合性がある事が重要になります。

安心・安全をめざして

リスクアセスメント表に抽出されている起こり得る労働災害が、全て教育資料（作業手順書）に記載され、安全作業への教育漏れがないよう継続的に見直しを行っています。また、設備に関しては、事故原因が安全対策・設備不具合によるものは避けなければいけませんので、通常作業で危険と感じた事の報告が大事なのは言うまでもありません。日頃の点検においても、メンテナンス時期を知らせる重要なポイントです。長期の修理工事でご迷惑をお掛けしないよう管理し、安定した処理設備を維持できるよう継続活動してまいります。

運送部：KYT

生産部：KYT

運送部・営業部
（アルコールチェック）

右側タンクの入替

生産部：緊急時対応訓練
（ウエスの発熱・火災）

生産部：緊急時対応訓練
（防油堤内の廃液漏洩）

拡大防止

拡大防止

中和作業

運送部：緊急時対応訓練

環 境 監 査

【外部審査】

ISO14001 第8回更新審査

検出事項は改善事項の2件

EMS
ISO14001
JSAE387

MS
CM001

【自社の取組】

安全衛生パトロール

- BDF防油堤内の管理不足（錆・不要物）
- 油圧ショベルの日常点検項目不足
- 計量施設周辺の整理整頓不足

内部監査・パトロール

- 車載書類不備(社内ルールの最新版)
- タイヤ、コンテナ等の管理不足
- 環境影響評価の最新版管理不足

PRTR届出量

単位：kg

第一種指定化学物質の名称		取扱量	大気への排出	移動量
管理番号	名　　称	令和6年度	令和6年度	令和6年度
53	エチルベンゼン	1,028	18.96	87.36
80	キシレン	50,983	288.00	267.98
186	塩化メチレン	22.6	18.83	0
213	N．N－ジメチルアセトアミド	1,722	9.76	75.6
232	N．N－ジメチルホルムアミド	7,122	30.31	0
258	ヘキサメチレンテトラミン	1,926	0.176	20.00
300	トルエン	59.249	890	3,866
349	フェノール	2,044	3.41	20.00
392	ヘキサン	3,622	325.8	2.3
400	ベンゼン	137	6.15	1.7
408	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエー・・・・	1,338	0	243.2
691	トリメチルベンゼン	1,126	3.22	7.66
738	メチル＝2-(3-オキソ-2-ペンチルシクロペン・・・・	2,025	0.61	0
748	3－メチルペンター3－エン－2－オンと3－・・・・	1,053	1.18	0

ばい煙測定

	令和6年9月	基準値	令和7年3月	基準値
ばいじん　g/㎥	0.053	0.3	0.095	0.3
硫黄酸化物（SOx）　㎥/h	0.07	1.1	0.099	1.1
窒素酸化物（NOx）　vo1ppm	100	180	110	180

資格取得者

2025年7月16日現在

1	産業廃棄物中間処理施設技術管理士	2名	22	粉じん作業特別教育	1名
2	収集運搬業の許可申請に関する講習	2名	23	はい作業主任者技能講習	3名
3	処分業の許可申請に関する講習	2名	24	防火管理者	1名
4	産業廃棄物処理検定	4名	25	テールゲートリフターの操作業務	19名
5	内部環境監査員外部講習修了者	9名	26	フルハーネス型墜落制止特別教育	9名
6	ISO14001解釈コース	4名	27	熱中症予防管理者教育終了	2名
7	特別管理産業廃棄物管理責任者	14名	28	保護具着用管理責任者教育	1名
8	危険物甲種	1名	29	大型免許	13名
9	危険物乙種(4類)	33名	30	小型移動式クレーン	9名
10	危険物丙種	2名	31	床上操作式クレーン	5名
11	運行管理者	2名	32	クレーン5t未満	2名
12	安全運転管理者	3名	33	玉掛け	13名
13	第一種衛生管理者	2名	34	フォークリフト	25名
14	安全管理者選任時研修終了	2名	35	ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ ﾙｰﾁﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ講習終了	1名
15	局所排気装置等の定期自主検査者養成講習	1名	36	ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ基礎講習修了	1名
16	特別・職長教育終了	3名	37	ボイラー取扱技能講習終了	1名
17	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	8名	38	2級ボイラー技士	3名
18	有機溶剤作業主任者	5名	39	車両系建設機械（整地運搬積込及び掘削）	2名
19	化学物質管理者講習	3名	40	車両系建設機械（整地等）	4名
20	特定化学物質等作業主任者	2名	41	eco検定(環境社会検定試験)	3名
21	毒物劇物取扱者	1名	42	救命技能	18名

工場見学者様からのご意見

弊社では、お越し頂きました工場見学者様からご意見を頂いております。お客様から頂戴した有り難い御意見を「お褒め・アドバイス・要望・指摘」に分類し、関係する部署が対応する仕組みとなっており、管理業務の向上に結びついております。令和6年度の見学者は96社182名の方にお越し頂きました。

ﾋﾞｼﾞﾈｽﾊﾟｰﾄﾅｰ
とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

外部コミュニケーション

・情報公開として、環境方針209部、環境報告書286部の配布。
・利害関係者様からは、安全、環境などに対する問い合わせが27件ほどありました。
その中でも環境保全活動・構内安全作業教育における協力依頼・災害情報は、全体の約52%を占めており弊社の災害防止活動に役立てられております。

地域社会との関わり

【雑誌スポンサー制度で寄贈】

新名取市図書館の雑誌コーナー

【77SDGs私募債による寄贈】

目録贈呈式（右側が地元小学校の校長様）

【令和6年度みやぎ県安全運転管理表彰式

交通安全対策に取組、交通事故防止活動が認められ、東北管区警察局長より「優良事業所」として受賞しました。

【名取市墓地公園樹木オーナー制度】

東日本大震災の復興事業で整備された墓地公園で、鎮魂の木として、寄付者が銘板付きで「ユリノキ」を植樹できるオーナー制度の植樹式。

【名取市内の夏まつり開催への協賛】

第39回なとり夏まつりのご紹介

全国花火師の競演

閖上太鼓保存会

全国花火師の競演

【行政・団体・協会への積極的な関わり】

◎名取市防災安全協会　監事
◎（一社）宮城県産業資源循環協会　副会長
　同協会県南支部　支部長と事務局
◎名取ロータリークラブ
◎岩沼地区安全運転管理者会　会長
◎全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会
◎みやぎグリーン購入ネットワーク
◎名取市環境審議会委員
◎名取市商工会
◎仙台市商工会議所
◎（社）みやぎ工業会
◎東北ニュービジネス協議会
◎名取市消防団

会社周辺の清掃活動

清掃活動は21年間の継続となりますが、残念ながらゴミが少なくなる事は有りません。ゴミの中には、ガスが入った潤滑油等のスプレー缶も捨てられております。モバイルバッテリーなどと同じように、二次災害に繋がる迷惑な物の不法投棄は、特にやめて頂きたいものです。

第1工場東側～第2工場西側間

ゴミの分別

不法投棄の撤去作業

宮城県産業資源循環協会県南支部において、保健所や管内自治体と連携し、会員の協力を得ながら不法投棄されたごみの撤去作業を実施しました。新型コロナウイルスの影響で4年間中止となっていましたが、令和7年3月10日(月)盛大に実施されました。(県道岩沼海浜緑地線8.9km、参加者35名)

集合写真

回収の様子

回収物搬入

名取市消防団への参加

消防団員の「操作訓練」とは、特定の機器、道具、または動作を適切に扱う能力を習得するために行います。「災害時対応訓練」とは、火災時の消火や避難誘導、救助活動、応急救護など、多岐にわたる内容を含みます。「出初式」とは、新年に行われる儀式で団員の防火・防災への意識を新たにします。

操作訓練

災害時対応訓練

出初式

自動販売機で継続的な支援

自動販売機で飲料水を買うことにより、災害時の被災者救護、防災・減災の普及啓発やボランティアの育成など、日本赤十字社のいのちを救うさまざまな活動に役立てられます。誰でも出来る簡単な支援システムだからこそ、全国に広がってほしいものです。

ＳＤＧｓの取組

SDGs宣言書

株式会社オイルプラントナトリ
2022年10月11日

当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組カテゴリ	SDGs達成に向けた重点的な取組テーマ	取組の内容	関連が強いSDGsゴール
人材・労働	人材育成	①労働者に能力開発の機会提供 ②男女共に活躍できる職場環境の構築	4 5 8
環境	自社工場の脱炭素推進	①バイオ燃料の自家発電設備の導入 ②高効率設備への更新促進 ③低炭素排出車両の導入 ④太陽光発電設備の設置	7 13
公正な事業慣行 組織体制	安全と法令順守を優先した職場環境づくり	①怪我・災害・交通事故リスクの低減活動 ②法令順守の教育を強化	3 4 16
製品 サービス	サーキュラエコノミー(循環型経済)を実感しよう	①リサイクル原料の入荷量アップ ②リサイクル燃料の販売先拡大	12
社会貢献 地域貢献	地域に必要な会社になるために	①地域活動への協力・支援 ②地域資源の積極的利用 ③災害時における市町村との協力 ④森林活動への支援	11 15
コミュニケーション	パートナーとの関係強化	①安定した処理先パートナーの確保 ②同業者同士のネットワーク強化による、協力体制の構築	17

※出典：七十七銀行様HPより

協定書関連

地域町内会との協定

弊社は、平成14年1月30日に会社周辺の飯塚町内会様と環境保全に努める事を目的とした「環境保全のための協定書」を締結しております。

全国組織の災害時協定

エコスタッフ・ジャパン（株）様は、全国から認定50社を超え、教育研修と情報公開が徹底された廃棄物処理・リサイクル企業の全国ネットワーク体となっています。平成25年6月27日「自然災害や不可抗力」により事業活動が困難な状況に至った場合に、認定企業が相互に支援し合う協定を締結。

ＭＲＧの災害時協定

近県の同業者が集まり、自然災害や不可抗力により事業活動が困難な状況に至った場合、相互に支援し合う「お互い様共助」に関する協定を締結。（25年1月25日）

同事業内容企業との災害時協定

関東の同業者と、相互に支援し合う「おたがい様共助」に関する協定を締結。（24年10月1日）
販売している製品を生産出来ない場合にも支援し合う協定を締結。（25年6月1日）

持続可能な社会の実現に向けて、弊社はＳＤＧｓに取り組んでいきます。

次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主の認定
（くるみん認定）を受けています。

株式会社オイルプラントナトリ
〒981-1201
宮城県名取市下増田字広浦52番3号
TEL　022-382-2713　　FAX　022-384-0946
E-mail：opn-amenity@msf.biglobe.ne.jp
---発行　2025年10月　ＩＳＯ事務局---